

日本ヒューレット・パッカード

テレコムとITの融合で新たなビジネスの創造を加速する「HP SDP&Services Marketplace」

ヒューレット・パッカード社 (HP) は、通信事業者向けに、テレコムとITの融合によりユーザーの認証、決済、利用方法等、高度かつ複合的な新規サービスの開発と導入を実現する「HP SDP」を提供。加えて、SDPに必要なソリューションやサービスの情報流通を行い、新しいアイデアを提供する支援プログラム「HP Services Marketplace」を展開している。

ネットワークのオープン化だけでなく新規ビジネスを創出する技術

NGNの構築は既存の電話網をIP化することでの低コスト化、高品質化、高機能化を図る取組みである。一方、IT分野ではWebを中心としたビジネスが進むにつれて、様々なサービスの展開が求められている。HPは、これら2つの分野を融合することで、新規ビジネスモデルの確立を目指している。それには、ITサービスアプリケーション (サービスAP) とネットワーク機能を連携する基盤である SDP (Service Delivery Platform) の技術が大きく関わってくる。HPは、SDPが単にネットワークをオープン化するた

めの技術だけでなく、新しいビジネスを創出する技術基盤でもあると捉えている。そのため、ユーザーの行動を把握する仕組みを作り出すことが鍵となる。そこでサービス実行基盤として、海外で豊富な実績のあるHP SDPを提供し、HP Services Marketplaceプログラムを通じて日本の通信事業者様へ展開していく。

3つのソリューションでサービスを支援するHP SDP

HP SDPは「広範囲のサービスを構成し提供するための基盤」をコンセプトとしている。HPが構築した基盤上に、再利用可能な部品 (イネーブラ) を組み合わせ、新たなサービスをAPIの利用により、短期間

を開発できるようになる。また、モバイルの位置情報やプレゼンス等を含めた各種ネットワークのリソースをパートナーとなる3rd Party (ASP、ISV、法人顧客、コンテンツ事業者) に対して契約に基づき公開し、新たなサービスAP開発に役立ててビジネスの創出を行うことを提案している。このコンセプトの概要を図式化したのが図1である。その中でHP SDPを支える3つの重要なソリューションを紹介する。

● HP OpenCall Media Platform (OCMP)

OCMPは、最新のCPUパワーを余すことなく活用できるSoftDSPベースの高性能マルチメディアサーバソフトウェアである。この製品の導入により、従来にはなかった「音声・映像」と「インタラクティブ性」を組み合わせられた多彩なサービスを実現することができる。同一プラットフォーム上で複数のサービスを同時に実行でき、数十から数万ポート以上まで拡張が可能である。またVXML/CCXMLなどの標準記述言語の採用によりサービスAPの開発を簡易・迅速化することができる。

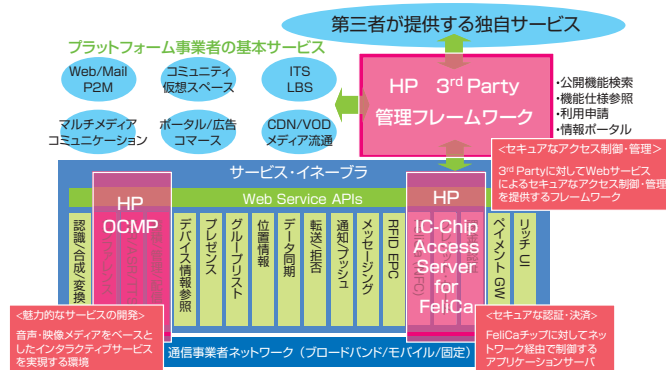


図1 HP SDPアーキテクチャとHPソリューション

で開発・提供することができる。そのため、ネットワーク機能を熟知していなくても、IT技術 (Web AP、Java等) のスキルがあればアプリケーション



図2 HP Services Marketplace

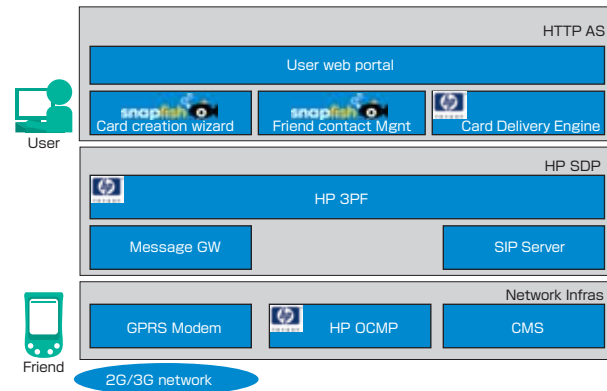


図3 Snapfish モバイルグリーティング・デモ環境イメージ

なお本製品はIMSにおけるMRFとしての機能を具備している。

● HP IC-Chip Access Server for FeliCa

本製品は、ネットワークを経由してFeliCa ICチップ2.0にアクセスするための唯一のサーバミドルウェアである。HPは、フェリカネットワークスからライセンスを受けて、同製品の販売を行っている。モバイルアクセス、PCからのアクセス、リアル使用のリーダー/ライターからのアクセスといった3つの利用シーンがあり、FeliCaチップデータの操作や認証機関間での安全な鍵情報の交換を可能としている。

本製品の利用により顧客の利便性向上や囲い込み、あるいは顧客接点をまたがった送客が図れる。また、多様な顧客接点で同一認証方式を適用し、高セキュリティ情報の利用を可能にしてユーザーの利便性向上に役立つ。

● 3rd Party 管理フレームワーク (3PF)

パートナー (3rd Party) による、共通イネーブラを利用したサービスアプリケーションの開発や運営を行

う場合、あるいは課金等によりアクセスのトラッキングの必要性がある場合、パートナーが提供する共通イネーブラをSDPに組み込んで運用する場合には、SLAに基づいたアクセス制御や管理が不可欠である。そこでHPは、イネーブラ利用ポリシー設定機能、SOAP/XML APIをベースとしたサービス・イネーブラのアクセス制御機能、そして通信事業者、及び3rd Party管理者向けの様々な管理機能を具備した3rd Party管理フレームワークを提供している。

HP Services MarketplaceでSDPのワールドワイドな展開を実施

HP Services Marketplaceは、革新的なサービスを開発するために必要なソリューションやサービスの情報流通を行い、サービス検討のワークショップを通じて通信事業者へ新規ビジネスのアイデアを提供するプログラムである (図2参照)。現在、ヨーロッパを中心としたワールドワイドな展開が行われているが、今後は日本からの利用環境も整備・展開していく予定である。

収益をもたらす新たなサービス分野の特定、ソリューションの推奨などを目的として、様々な分析結果の提示を行うサービス & プロダクト・ポートフォリオ・アセスメント (SPPA) を運用。また開発支援としてSelf Certification Platformを用意。3rd Partyが提供するサービスAPについてSOA的な観点での動作チェック等を可能とするテストプラットフォームを提供してSDPのバリューチェーン全般を支援する。

またHP Services Marketplaceを活用した例として、HP自身が提供するオンラインプリントサービス、HP snapfishとHP SDPとの連携サービスの開発・提供もしている。このサービスではHP 3PF、OCMPを活用したモバイルグリーティングサービスのデモを構築した。こちらのデモは海外の通信事業者等とともに展開する予定である (図3参照)。

お問い合わせ先

日本ヒューレット・パカード(株)
カスタマー・インフォメーション・センター
TEL:03-6416-6660
URL:<http://www.hp.com/jp/>